

令和7年度 第1回ミライニ運営評価審議会 【概要】

日 時	令和7年7月15日（火）午後1時30分～3時00分
場 所	総合文化センター412号室
出席者	委員8名（欠席2名） 事務局 酒田市 社会教育課長ほか3名 ミライニ 所長ほか4名 傍聴者1名
1 開 会 2 課長あいさつ 3 新任委員・職員紹介 4 報告・協議事項 (1)令和6年度酒田駅前交流拠点施設ミライニの運営状況について 資料1 ①図書館運営について ○委員 ミライニの施設見学及び視察の対応について、無償でご案内しているのか？移住・交流拠点TOCHiTOにも視察の申し込みが多数来ているが、時間に対する対価としてパンフレットを1,000円で販売している ○事務局 行政視察の際は資料代として1部につき500円いただいている。地元の団体や小中学校の見学会などは無償で対応している。 ○委員 子ども読書活動推進について、幼い頃から本に親しみ、読書習慣を身につけることが大事だと思う。ブックスタートとして赤ちゃんに本をプレゼントする取り組みのほか、小学校入学時にも本を配る取り組みもある。 また、作家が小学校を訪問する企画を行ったとのことで、子どもたちの印象に残る良い取り組みだと思う。言葉のプロフェッショナルである作家が学校に来て、子どもたちが本物に触れる、学ぶ機会は大変貴重であるため、今後も企画していただきたい。 ○事務局	

検討する。

○委員

ミライニに行くとチラシなどで多岐にわたる情報を発信しているが、チラシを置くルールはあるか？

○事務局

優先順位としてミライニ→自治体（広報含む）のチラシを置いている。金額が高いものや営利関係は置いていない。観光や地域の情報のチラシについては、観光案内所のほうに置いているものもある。

○委員

魅力的なイベントを開催しており、ミライニに来るきっかけづくりにつながっている。高校生など、若い世代の来館者に対して、読書につなげる取り組みは何かあるか？

○事務局

マルシェを年数回開催しており、その際に家読講座のブースを出店している。来館者に家読の大切さを伝え、読書手帳の配布や手帳に貼るシールの印刷の方法を教えている。スポーツイベントの開催などで大勢の来館があるイベントを実施しているが、読書に対してどれほど効果があるかは検証できていない。一方で、子どもが館内で遊んでいる間、保護者が本を読んで待っていることも多い。

○委員

預かり保育サービス実施の効果はどうか。

○事務局

子どもを預けている間、子どもの本や自分が読む本を選んでいる姿をよく見かける。リピーターもあり、初年度に比べて預かり保育を知っていて利用する方が増えた。

○委員

3階の研修室は予約がないときは開放しているか？

○事務局

イベント等や高校生のテスト勉強などで館内が混雑している際、予約が入っていなければ研修室ミナトを開放している。

○委員

ミライニから読書手帳を園に配布していただき、家庭に配布した。どのように読書手帳を利用しているかは未検証である。先ほど施設見学の話が出たが、保育園の施設見学にも対応しているか？

○事務局

館内を全て歩くのは難しいため、子どもに合わせた対応をしている。遠足のよう
に広場でお弁当を食べて帰るという使い方をしている園もある。

○委員

預かり保育は大変良い取り組みである。子どもを預けてゆっくり本を読みたい
保護者が多く、今後需要が高まると思う。また、保育士の子どもの接し方を見
て保育の仕方を学んでいる方もいる。一方で、保育士の確保が他の自治体でも課
題となっており、金銭面での問題もある。ミライニでは専門の保育士を直接雇用
しているのか？

○事務局

ミライニでは預かり保育に関して「にこっと」(一時保育事業を運営するNPO
法人)に委託している。週1回、保育士2名体制で依頼している。予算について
は指定管理費に計上されている。

○委員

子ども読書活動推進に関して、中高生の読書離れが深刻であり、勉強するけど
本は読まない、図書館に来て本を借りない子が多い。ミライニではテスト期間
中に研修室を貸し出しているとのことだが、勉強と読書の取り組みの両立につい
て、どのように打開していくか考える必要がある。例えば、勉強を始める前に、
自分の学習と重なる分野の本を薦めるなどの取り組みが考えられる。その際、貸
出手続きをしていなくても本を借りたこととしてカウントできれば良いと思う。

○事務局

中高生が図書館に勉強しに来て本を読まないことは図書館業界の課題として認
識している。研修室を開放するのは混雑時のみであり、普段はコミュニティベ
ースやデッキラウンジで勉強している子が多い。付近にはヤングアダルトの書架を
配置しマンガ本も置いている。また、最近ではライトノベル(中高生向けの娯楽
小説)を購入しており、子どもたちが勉強する動線上に興味を持ちそうな本を配
置することを意識している。子どもたちに本を薦めることはできていないが、効
果的な取り組みだと思う。

○委員

子どもの目に留まる場所に本を置くのは良い取り組みである。

②観光案内所運営について

○委員

多岐にわたる講演会を開催しており、良い取り組みである。いろは蔵、山居倉庫も稼働が安定したため、ミライニと連携を密にして市内回遊を促していきたい。

○委員

ファンファンクラブは前回の審議会で聞いていたが、非常に良い取り組みのため、継続して欲しい。また、観光ガイド研修会は内容が多岐にわたり参加したいと思える。一般の方も参加可能とのことで、市民の観光客へのおもてなしの意識醸成につながるものと思う。

③管理運営事業について

質疑なし

(2) 令和6年度利用者アンケートについて

資料2

○委員

アンケートの情報は宝の山であるため、分析してミライニのより良い運営に活かして欲しい。

○委員

図書館を使った調べる学習コンクールは素晴らしい取り組みである。探究学習を取り入れる学校が増えており、学校との連携がますます重要になってくる。学校からの図書に対する需要を聞きたい。学校への団体貸出の状況はどうなっているか？

○事務局

団体貸出について、先生自身で選書して借りられる方や司書に選書を依頼する方もおり、年間数十件の貸出がある。

○委員

図書購入の予算が削られている学校もあり、ますます重要な機能になると思う。また、ミライニは蔵書も増えジャンルも豊かなため需要が増えると思う。図書専門員の研修会では、勤務体制の問題から選書が難しいとの声もあがっている。ミライニに限った話ではないが、学校と市立図書館の連携を強化し、対策を取らないと子どもたちに還元できないと危惧している。

(3) 第4次酒田市子ども読書活動推進計画について

資料3

図書部会の設置および開催について、審議会より了承をいただく。

(4)その他
なし。

5 閉 会

以上